



かさおか輝き新聞

～坂本りょうへい市政報告～

発行：令和3年1月

発行責任者：坂本りょうへい

岡山県笠岡市大宜605

電話：0865-66-1818

皆様には益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。

新たな年が始まりましたが、変わらず新型コロナウイルス感染症は地方へと拡大し多くの感染者が出る事態となっています。私自身も細心の注意をしつつ、皆様の声を大切に故郷の安心安全のため、しっかりと地に足をつけて活動をしてまいります。

ここに12月議会が終了しましたので市政報告をさせていただきます。



11月臨時議会（会期 11/17）

新型コロナウイルス対策に関する4案件の補正予算を審議可決しました。財源は国からの支出金となります。

・障がい者へのインフルエンザ予防接種支援事業
実施期間 10月～1月 接種費用の償還給付で自己負担額を無料とする。

・主産育児応援特別給付事業

前回懸案であったR2.4/2以降に出生した子どもに対しての給付。※出生後の転入や他で既給付者は除く
*R2.4/2-4/27生まれ 1万円（議会視察費を返還し対応）
*R2.4/28-R3.4/1生まれ 11万円

・プレミアム付商品券事業

地域経済活性化の為にプレミアム商品券を発行
5,000円で7,500円の額面（1世帯3冊まで）

販売期間 R3.1月20日～2月19日

利用期間 R3.1月20日～7月19日

・観光応援事業（宿泊施設支援事業）

前回、支援事業の追加補正となっています。

12月定例議会（会期 12/1 - 12/22）

会期22日間として12月定例議会が開催され委員会付託案件や補正予算など多くの議案が審議されました。

今回、上程された案件で2つの設置条例が提出され審議されています。

■笠岡市笠岡港笠岡地区（伏越）自動車駐車場

条例の制定（可決）

伏越にある笠岡港に隣接する駐車場を有料駐車場として整備するための条例です。

皆様の声、地域の声を教えてください。
皆様の声を活動の指針として参ります。

■笠岡市農道離着陸場設置条例の制定（否決）

干拓地内にあるふれあい空港を県から譲渡、笠岡市で管理するための条例です。

現在、9:1の割合で笠岡市が管理するふれあい空港を100%笠岡市が管理するというものです。

現在、黒字であるが譲渡後の運営等にコストが掛かるとの指摘により否決となりました。

坂本の目 9月議会で当空港の利活用について質問し、

また自ら航空機に乗り島しょ部の観光資源調査を行いました。道の駅やバイパスからの利便性を考慮しても磨き方次第で十分新しい観光資源や外貨を得る施設として活用できると思いますが、上程された条例は他所の条例を盛り込んだものであり、これまでの実績や状況を加味した条例ではなく、使用料についても見直しなく現行のままと持続可能な空港運営に対しても不足だと感じました。

これにより否決に対して賛成し、執行部に対してせっかくの財産を有効に活用できるよう、再度提案をするようにエールを送りました。



実際に航空機で
調査を行いました。



実際に空港から最南端

六島まで20分

干拓地や島しょ部の眺めは観光資源としても有効。実際にライセンスも同グライダーで取得可能。

ドローン研修所なども誘致可能。



kasaoka.mirai@gmail.com

12月定例議会で40項目の補正予算を審議しました。

12月度の補正予算額は4億9千89万円、コロナウイルス感染症により当初予算から減額した金額を差し引き4億5千605万円の補正となりました。大半は国庫支出金となり内容は以下の通りです。

・小児予防接種事業 1,098万円

小児予防接種件数の増加による追加補正

・有害鳥獣捕獲奨励費 655万円

・有害鳥獣被害防止対策事業 567万円

捕獲頭数の増加・防護柵設置件数の増加により追加補正（防護柵は柵設置経費の2/3で15万円を上限）

・島のきずな便拡充事業 360万円

否決し補正から削除（県200万 市160万）

NPO法人かさおか島づくり海社が行う事業拡大に対して運搬船の購入及び運営に関わる費用を捻出するもの。6月議会で否決となつたが、運行に関わる民業とのバランスや特定団体に関わる経費捻出に対して議論され今回も否決となりました。

坂本の目 前回否決の立場をとりましたが、これまでヒヤリングをする中で島しょ部の状況とこれから5年先10年先を見据えた時に今の状況が維持できるのは難しいと感じました。市の公金が入る権限も確認したうえで、他の航路に不測の事態が生じた場合には市の権限にて、その応援にまわる体制作りも視野に入れ一団体の視野ではなく島しょ部全体の視野を持つべきとして否決に対して反対の立場をとらせていただきました。

・ラジコン草刈機導入事業 444万円

前回否決された案件。有害鳥獣対策や緩衝帯の作成や法面や農地の維持を目的に安全に草刈作業が出来るようにとキャタピラ式及びスパイクタイヤ式の2台を購入するもの。

坂本の目 前回否決した案件。その後のヒヤリングもあり可決されています。当面はオペレーターも帶同し貸し出します。県が貸与する草刈機もあるので併用し市民がうまく利用できる仕組みを構築し将来は一般普及を考慮した購入補助も検討してほしいと思います。

・笠岡駅前ぐるぐる商店街事業 100万円

コロナ下でいちょう祭りが中止となる中、笠岡駅前周辺の活性化を目的とする事業への補助金。



・総合体育館空調設備改修事業 5,690万円

総合体育館メインアリーナの空調改修工事

・庁舎施設整備事業 230万円

新型コロナウイルス感染症により視察が制限されたため返還し、その予算を会派室改修費としました。

・中山間地域農業ルネッサンス事業 260万円

前回否決された案件。笠岡諸島の特産物を売込み流通に乗せるためのストックヤード整備やマルシェを通じてPRや人材育成を行う事業。

その他、道路維持や自然災害防止事業、消防機庫建設など多数の案件を審議しています。

知って 学び舎の在り方について考える

下さい 誰しも卒業した学校には少なからずとも愛着があると思います。また、地域コミュニティの拠点であり、避難場所でありその用途は様々で当たり前のようにそこにある施設として考えられているのではないかでしょうか。

笠岡市では教育行政の変革とし、現在幼保再編、小中一貫教育を進めています。例えば西部エリアは既設の金浦・陶山幼稚園を城見保育所へ統合し令和6年に城見認定こども園へと一本化します。小中一貫教育※では令和8年に金浦・城見・陶山小学校を金浦中学校に統合（施設一体型）する方向で動いています。1年あたりの出生数は200名、笠岡市において一定数を確保した教育を目指し、学びを一貫することで反復した学習が期待されるとしています。学習要領は時代の流れで変化するとしても故郷の学び舎が今後どうなっていくのか、キッチンと地域の声を届け、その後の展開までを考えていくべきと思います。これまで保護者の皆様に対し説明会を開催してきました。

今後も故郷の大切な

財産をみんなで考えて

いけるよう取り組んで参ります。



※施設一体型は金浦中学校区・新吉中学校区がモデル校としています。

【坂本りょうへい 現在の要望対応】

①池・河川の災害対策要望

②小中一貫教育における説明会実施（継続）

③家屋への倒壊危険箇所への対応

④地域活性を目的とする団体設立のお手伝い

⑤道路危険箇所への対応（継続）

⑥スポーツにおける施設や待遇における要望